



山中 はな ちゃん
「いたずら大好き☆
おてんば娘!」
(下影森)



黒澤 ^{たくと}拓隼くん
「車と電車 だーいすき☆」
(寺尾)



小澤 ^{むぎ}麦 ちゃん
「アンパンマン♡」
(大野原)



猪俣 ^{はると}陽斗くん
「わが家の癒しです♡」
(久那)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

エコ活動から広がる絆

(小鹿野高校)



次代を担う高校生が取り組む環境保全活動(エコ活動)を表彰するコンテスト(eco-1グランプリ)があります。ボランティア部が、eco-1グランプリに、部の取り組み「2つのエコ活動から広がる絆～鹿高生の小さな努力～」を応募しました。その結果、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞に次ぐ審査員特別賞を受賞しました。

ボランティア部は、地域の皆さまにご協力をいただき行っている「エコキャップ回収活動」、東日本大震災の被災地へ義援金を送る目的で始めた「手作りはがき(エコはがき)」のエコ活動をしています。この2つの取り組みがコンテストで評価されました。

部員たちは、この受賞を励みに、感謝の気持ちを忘れずに、今後も活動を続けていきます。

小鹿野高校は、生徒の「人間力」を育み、地域に根ざした学校づくりを目指していきます。



市民文芸

俳句

竹内 弥太郎 選

(評) 移り変わる四季の中でも、春は人びとの心を弾ませます。千代子さんは石蹴りの石の音に、光枝さんはピアスの揺れにさえ、春の音を感じています。西治さんは芹舎の立ち上がり春の息吹を表白し、和子さんは徹夜する気力を、富江さんはあめを口にしながら麦踏み余念がありません。春なればこそその生活にも発見が見られます。しげ子さんの描く鯉や、みつさんの春雷、定男さんの針供養、善三郎さんの春祭り、百合子さんの春菜のうまさを知った夫を描くのも、春を掘り下げて見つめたのが、良い作品を生みました。

石蹴れば石にもありぬ春の音
下影森 山口千代子
立話ふと途切れけり春の雷
道生町 福田 みつ
在りし日の母の熨斗や針供養
中町 内田 定男
麦踏みや舌にころがす秩父餡
上吉田 山口 富江
薄氷の池に透けたる鯉の黙
日野田町 加藤しげ子
徹夜して帽子編み上げ氷柱見
野坂町 浅見 和子
病い得て春菜の旨さ気づく夫
寺尾 津久井百合子
娘のピアス揺れて幽かな春の音
上影森 坂東 光枝
初不動眼下に芹舎立ち上がり
中村町 井上 西治
春まつり山あい縫って笛太鼓
栃谷 竹村善三郎

※次回5月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 4月末締切→6月号に掲載

短歌 5月末締切→7月号に掲載